

JSS No.	元素	標準値 (%)	平均値 (%)	$\sigma_{\bar{x}}$	CV
162-3	Cu	0.043	0.0432	0.0009	2.1
163-3		0.10	0.103	0.004	4.0
164-3		0.31	0.308	0.007	2.3
165-3	Mo	0.013	0.0126	0.0008	6.2
166-3		0.16	0.155	0.005	3.1
167-3		0.32	0.316	0.006	1.9
165-3	Ti	0.013	0.0130	0.0016	12.
166-3		0.096	0.0964	0.0024	2.5
167-3		0.30	0.295	0.005	1.7
165-3	V	0.31	0.314	0.007	2.3
166-3		0.11	0.108	0.004	3.6
167-3		0.012	0.0122	0.0006	5.0
165-3	Co	0.092	0.0918	0.0015	1.6
166-3		0.064	0.0642	0.0017	2.7
167-3		0.026	0.0255	0.0017	6.5
165-3	As	0.11	0.110	0.004	3.6
166-3		0.051	0.0512	0.0020	3.9
167-3		0.012	0.0116	0.0009	7.5

JSS No.	元素	標準値 (%)	平均値 (%)	$\sigma_{\bar{x}}$	CV
161-3	Al	0.040	0.0398	0.0015	3.8
163-3		0.027	0.0272	0.0011	4.0
164-3		0.055	0.0552	0.0015	2.7
165-3		0.012	0.0121	0.0008	6.7
166-3		0.014	0.0135	0.0009	6.7
167-3		0.028	0.0276	0.0012	4.3
165-3	Sn	0.11	0.108	0.003	2.7
166-3		0.056	0.0560	0.0016	2.9
167-3		0.012	0.0124	0.0004	3.2
165-3	B	0.0009	0.00094	0.00011	12.
166-3		0.0058	0.00577	0.00036	6.2
167-3		0.0122	0.01222	0.00045	3.7
165-3	Nb	0.21	0.212	0.006	2.9
166-3		0.11	0.113	0.005	4.5
167-3		0.013	0.0132	0.0015	11.5

書 評

A Guide for Better Technical Presentations

Edited by Robert M. Woelfle

技術発表のすべて

— 知的職業人のための発表の手引 —

宇都宮敏男・富樫 順亮 共訳

「発表—それは分業化した現代社会の本質的な要請である」という冒頭の一行に始まるこの論文集には、それぞれの専門家によつて書かれた 21 編の論文が次のように分類、収録されている。

I. 概説, II. 計画と準備, III. 視覚教具, IV. 演説の技術, V. マルチメディアによる発表, VI. 映画.

数分間の口頭発表にも、何年もの背景、何カ月かの研究とデータの収集が反映されていなければならない。そのためにはどんな方法があり、どうしたらよいのか？

きめ細かい計画と準備、さらに念入りなりハーサルを経て演壇に立ち、序論の中で聴衆を引きつけ、「聞きたくも知りたくもない」という気持ちを「参加できたことを感謝します」という気持ちに変えるような発表をしなくてはならない。この本には、そのための発表内容のまとめ方、演説の仕方、スライドなどの視覚教具の作成法および利用法などがいろいろな角度から検討され、わかりやすく紹介されています。

振り返つて、私達の身近で経験できる発表講演や使用されているスライドをこの本の基準に従つて評価した時に、果たしてその何%が合格できるでしょうか。

素晴らしい論文を書ける人でも良い発表のできない人は真の専門家でないと言われ、発表をマスターすることは専門家としての成長の一課程であると言われております。叶うことであれば、まずこの小冊を一読されてから講演大会の演壇に立つて欲しい、というのが素読したあとの卒直な感想であります。(本会講演大会分科主査 郡司好喜)

A 5 判, 294 頁, 丸善発行, 3,000 円